

三菱インバータ セールスとサービス

No. 174

汎用インバータFREQROL - F500シリーズ バージョンアップのお知らせ

平素より弊社汎用インバータをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

FREQROL - F500シリーズインバータにて、より使い易さの向上を図るためバージョンアップをしますのお知らせです。

記

1. 対象機種

- ・FR-F520-0.75K ~ 55K
- ・FR-F540-0.75K ~ 55K

2. バージョンアップ内容

より使い易さの向上を図るため、以下の機能を追加します。

No.	項目	内容	効果
1	LONWORKS 通信	FR-A5NL(LONWORKS 通信オプション)に対応。	FR-F500 特殊品にて対応しておりました FR-A5NL (LONWORKS 通信オプション) に標準品で対応します。
2	積算電力計クリア	Pr.170 の設定値(10,9999)を追加	通信用内蔵オプション(FR-A5NR 以外)使用時に積算電力計モニタの計測範囲を変更することができます。
3	再始動加圧時間	Pr.611 を追加	再始動時の加圧時間を設定することができます。
4	通信用内蔵オプション装着時のエラー検出機能	Pr.500 ~ Pr.502 を追加	通信用内蔵オプション(FR-A5NR、FR-A5NP、FR-A5NM 以外)装着時において通信回線異常の検出タイミングが変更でき、エラー発生時にはインバータ本体の動作選択ができます。

No.2 ~ No.4 についての詳細は裏面の「5. 追加機能の詳細」を参照ください。

3. 識別方法

本バージョンアップ品は、インバータ本体の定格銘板および梱包の名板に記載されている SERIAL(製造番号)が下記の記号以降となります。

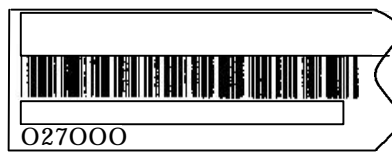
形式	SERIAL(製造番号)	形式	SERIAL(製造番号)	形式	SERIAL(製造番号)
FR-F520-0.75K	W 2 7	FR-F520-15K	F 2 7	FR-F540-3.7K	C 2 7
FR-F520-1.5K	A 2 7	FR-F520-18.5K、22K	E 2 7	FR-F540-5.5K ~ 11K	F 2 7
FR-F520-2.2K、3.7K	Z 2 7	FR-F520-30K ~ 45K	W 2 7	FR-F540-15K ~ 22K	H 2 7
FR-F520-5.5K	A 2 7	FR-F520-55K	V 2 7	FR-F540-30K、37K	V 2 7
FR-F520-7.5K	Z 2 7	FR-F540-0.75K、1.5K	C 2 7	FR-F540-45K、55K	W 2 7
FR-F520-11K	Y 2 7	FR-F540-2.2K	B 2 7		

定格銘板 .

— 2 7 —
記号 年 月 管理番号
SERIAL(製造番号)

インバータ本体の定格銘板に記載されている SERIAL(製造番号)はこのように記号(アルファベット) 1文字と製造年月 2文字、管理番号 6文字で構成されています。

梱包名板 .



記号 年 月 管理番号(注)

SERIAL

(注. 梱包の名板の SERIAL(製造番号)は左記の管理番号 6桁の内上位 3桁を使い、記号を含め 6桁で表示されます。)

4. 製品切替時期

2002年7月生産分より順次反映します。

発行 日付	2002年7月	件 名	汎用インバータ FREQROL - F500シリーズ バージョンアップのお知らせ	三菱電機株式会社名古屋製作所 〒461-8670 名古屋市中区矢田南5-1-14 (052)721-2111 大代表
----------	---------	--------	--	--

5. 追加機能の詳細

(1) Pr. 170 “ 積算電力計の設定値 ” の変更

通信内蔵オプション使用時に積算電力計モニタの計測範囲を変更することができます。

Pr. 170 設定値	最小設定単位	工場出荷時設定値	内 容
0	1	9999	積算電力計の値をクリアします。
10			通信での積算電力計モニタの計測範囲が 0 ~ 9999kWh になります。 (通信内蔵オプション(*)使用時)
9999			通信での積算電力計モニタの計測範囲が 0 ~ 65535kWh になります。 (通信内蔵オプション(*)使用時)

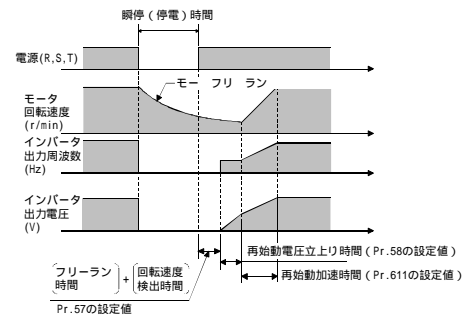
(*)FR-PU04 は積算電力計モニタが 99999kWh まで表示できますので Pr. 170 の設定は不要です。

(2) Pr. 611 “ 再始動時加速時間 ” の追加

瞬停再始動機能(Pr. 57)を選択した場合、再始動時の加速時間を設定することができます。

Pr. 611 設定値	最小設定単位	工場出荷時設定値	内 容
0 ~ 3600s	0.1s	5.0s	再始動時、設定周波数に到達するまでの加速時間を設定します。
9999			再始動時の加速時間は Pr. 7、Pr. 44 により決定されます。

Pr. 162=0 (周波数サーチ有) の場合



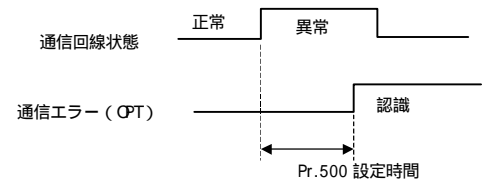
(3) 通信内蔵オプション装着時のエラー検出機能の追加

通信運転時に異常が発生した場合のインバータ本体の動作が Pr. 500 (通信エラー実行待ち時間), Pr. 501 (通信異常発生回数表示), Pr. 502 (異常時停止モード選択) で選択できます。

Pr. 500 「通信エラー実行待ち時間」

通信回線異常発生から通信エラーまでの待ち時間を設定できます。通信回線異常が発生し、Pr. 500 の設定時間を経過しても正常状態に復帰しない場合、通信エラーと認識します。設定時間中に正常な通信として復帰した場合は、通信エラーと認識せずに運転を継続します。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値
500	0 ~ 999.8s	0.1s	0s



Pr. 501 「通信異常発生回数表示」

通信異常発生累積回数を知ることができます。0 を書込みますと、この累積回数が消去されます。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値
501	0	1	0

Pr. 502 「異常時停止モード選択」

通信回線異常または通信内蔵オプション自体の異常が発生した場合のインバータ動作が選択できます。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値
502	0、1、2、3(*2)	1	0

異常発生時

異常内容	Pr. 502 設定値	異常発生時			Pr. 500 経過後エラー認識時			異常解消時		
		動作状態	表示	異常出力	動作状態	表示	異常出力	動作状態	表示	異常出力
通信回線	0	継続 (*1)	通常表示 (*1)	出力しない (*1)	フリーラン停止	E.OP3 点灯	出力する	停止状態 継続	E.OP3 継続	出力継続
	1				減速停止	停止後 E.OP3 点灯	停止後 出力する			
	2 3(*2)				継続	通常表示	出力しない			
オプションユニット	0、3(*2)	フリーラン停止	E. 3 点灯	出力する	フリーラン停止	E. 3 点灯	出力する	停止状態 継続	E. 3 継続	出力する
	1、2	減速停止	停止後 E. 3 点灯	停止後 出力する	減速停止	停止後 E. 3 点灯	停止後 出力する			

*1. Pr. 500 の設定時間内に正常な通信状態に復帰した場合には通信回線異常(E.OP3)は発生しません。

*2. “ 3 ” は FR-A5NL 使用時に設定できます。